

学外研修報告書

フィールド科学系部門生物生産技術班

岩崎貞治

第 19 回シーフードショー東京に参加して

1. はじめに

シーフードショー東京は水産業における日本最大の食材見本市であり、水産養殖技術展、鮮度流通技術展等も同時開催され、各種セミナーも開かれる。

本大会では、資源保護や養殖効率のアップ、加工技術・流通技術の進化等、水産業界が現在どのように展開しているかを情報収集する目的で参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 8 月 23 日～25 日

場所：東京国際展示場

3. 参加者

水産業関係者、行政組織、学術機関など 30000 名以上

4. 研修内容

水産業の多角的な情報収集および水産関連のセミナーを聴講した。

5. まとめと感想

今回の参加では特に、陸上における閉鎖循環養殖に関するセミナーを中心に情報収集を行った。どうしても水槽内で生物を飼育すると体表からの粘液や排泄物、残餌による水の汚れが問題になる。その為、炭酸ガスやアンモニアの脱気、蛋白質を主要成分とする粘質物の除去、懸濁物の除去を行わなければならない。現在その為の様々な方法が存在し、具体的に、浮上・沈殿・ろ過・吸着・化学反応・生物処理などある。本大会では、中でも浮上分離法の一つである泡沫分離についての詳しい知見と現状の技術レベルを知ることができ、大変有意義な時間を過ごせた。

今後も積極的に情報収集することで、職場に活かせるシステムや技術を提案できればと考えている。